

平成23年 2月 2日
午後 11時 45分
大分県農林水産部

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

1 検体採取農場の概要

農場所在地 : 大分県大分市宮尾
飼養状況 : 採卵鶏 約8, 100羽

2 遺伝子検査の結果

当該農場で採取した11羽の検体について大分家畜保健衛生所で遺伝子検査を実施したところ、本日午後11時30分、11羽中9羽でH5亜型を確認した。

遺伝子検査	:	死亡鶏	6羽中5羽	H5亜型確認
		同居鶏	5羽中4羽	H5亜型確認
		計	11羽中9羽	H5亜型確認

今後は、確定診断のためウイルス分離を実施し、その検体を独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所へ送付する予定。

3 今後の対応

遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認したので、家畜伝染病予防法に基づき、当該農場の飼養家さんの殺処分や発生農場の消毒、移動制限、消毒ポイントの設置等必要な防疫措置を開始します。

【報道機関へのお願い】

- 高病原性鳥インフルエンザは、現場で取材される際などに、靴底や車両からウイルスが拡散する懸念があります。また、取材ヘリ等に起因する地元住民の皆様からの苦情や、防疫作業への影響が懸念されます。このため、発生農場はもとより、その周辺の農場における取材については、厳に慎むようお願いいたします。
- 今後とも、本病に関する情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。

当該農場は、感染が疑われるとの報告があった時点から飼養家さん及び卵等の移動を自粛しています。
なお、家さん卵、家さん肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは世界的にも報告されていません。

問い合わせ先
担当者：農林水産企画課 小野、牧
電話：097-506-3512